

1人1人が自立へ向かって、光ろう！

いっとうしょうぐう 一灯照隅

578人がみんなで光れば、

灯中はさらに輝く！

福井市灯明寺中学校 指導部通信

発行 福井市灯明寺中学校

12月 1日

生徒指導部

令和5年度 第12号

生徒指導部より 12月の生活目標

いじめ・差別・SNSでの人権侵害を撲滅しよう！

○心の教育の充実「人権を考える月」人権について理解を深め、いじめ撲滅を目指します。

- ・学校行事・・・12月5日（火）に全校生徒を対象に人権集会を実施します。
- ・学級活動・・・人権作文入賞作品や、人権啓発動画を視聴して、様々な視点から人権についての意識を深めます。
誰もが安心安全に、居心地の良いクラスになるために「ホットハート宣言」を考え、クラスでまとめます。
人権に関する標語をつくり、クラスで良い作品を選考・発表し、人権意識を高めます。
- ・道徳・・・学年に応じた題材をもとに全校道徳を行い、これから自分がどのように行動していきたいかを考えます。

学校生活のみならず、日々の生活の中で自分の周囲に思いやりの心を持ち、生活していきたいものですね。それが円滑な人間関係を作り上げる秘訣ではないでしょうか。具体的には・・・

【ちょっとした声かけが、うれしい】 「おはよう」「バイバイ」や「お、髪切った？」「(元気ないな...) 大丈夫？なんかあった？」など、ちょっとしたあいさつや声かけが、実はちょっぴりうれしいものです。誰にでも分け隔てなく言い合えるといいですね。

【人の心の中は、見えないもの】 人には言われて嫌な言葉や、触れてほしくないことがあって当然です。「うざい」「バカ」「死ぬ」などの乱暴な言葉や SNS 上の書き込みはもってのほかです。それはからかいやじゃれ合いではなく、度を越えた、人格を攻撃する言葉です。いくら仲のいい友達だとしても、その時相手が笑顔だったとしても、心の中までは見えません。実は深く傷ついているかも...。言われて相手はどう思うかをよく考え、言葉を選びましょう。傷つける可能性のある言葉は、使わないようにしましょう。

【天は人の上に人をつくらず 人の下に人をつくらず】 年齢には上と下があります。会社には社長や課長などの役職があります。でも人の存在に上や下はありません。大人も含めて完璧な人間なんて存在しないのだから、「人を下に見る」ことは差別と言えます。絶対に許せません。

【コミュニケーションを大切に】 誰かの話に真剣に耳を傾け、相手の気持ちに配慮しながらうまく受け答えができる人のことを「聞き上手」といいます。人間関係のトラブルは、コミュニケーションが不足していることが原因になることが多いです。まずはうなずきながら、共感しながら人の話が聞ける「聞き上手」な人になりましょう。



【灯中っていいね！パート5】

☆地域の方から、教えてもらいました。

先日、大雨の日に農道で軽トラックが脱輪をして動けなくなっていたそうです。そこを通りかかった灯中の男子生徒達が「大丈夫ですか？手伝います」と言って、自転車を降りて軽トラックを一緒に持ち上げて助けてくれました。生徒達はドロドロになってしまったけれど、運転手の方はとても助かったそうです。心のきれいな、あたたかい生徒さん達ですね。



ドロドロでも心はあったかいよね。灯中っていいね！

【保健室から】

家でもタイムマネジメント！ 第2回 はぴモニ始まるよ！！



12月4日から10日まで、第2回ははぴモニを実施します。睡眠・メディア・学習の時間を、毎日記録することで、自分の生活について振り返り、生活を改善していくことが目的です。7月の第1回目では、平日は睡眠時間、メディアの時間ともに自分の決めた目標を守れている人が多かったですが、休日になると、就寝時間、起床時間ともに遅くなり、メディア時間も増える人が多くいました。

1回目にくらべ、今回は家の中で過ごす時間が長くなると思います。だらだらとスマホを見ていて、知らないうちにこんな時間！？といったことにならないよう、家の中でも、「集中して頑張る時間」「力を抜いて休む時間」をはっきりさせてメリハリのある生活を送ってほしいと思います。

【先生のらくがき帳】

先日11月22日（水）の福井テレビ news イット！で、『灯中の校則改定についての取組』が放映されました。実は1学期から、何回か福井テレビの撮影スタッフの皆さんが、生徒会執行部の話し合いや全校集会での発表などを取材していました。

いろんな立場（生徒・保護者・先生）からの考えや要望を集めたうえで、納得解をつくる。【生徒が主役になって、新しい未来をつくっていく中学生】の姿が、TV局にとっては「世の中に伝えたい！」と思えたようです。まさにいいね！どころか【灯中ってスゴいね！】って思います。

特に灯中に興味を持って、取材や番組で語ってくれたのが、写真左の佐橋アナウンサーです。実は彼女に逆取材をしてみました（笑）先生「灯中を取材してみて、どう思った？」



佐橋アナ『生徒会の生徒達からは「自分たちで学校を良くしていく」という強い意志と、有言実行するパワーを感じました。生徒会以外の生徒も、しっかり自分の考えを持っていて、私は中学時代、こんな風に自分の意見を自分の言葉で人に伝えられていたかなあと、なんだか恥ずかしくなりました（笑）』

（現役アナウンサーにこんなこと言われるとは...やるなあ😊）ちなみに、写真右の男性は同じく福井テレビの吉田圭吾アナウンサー。15日（金）2年生総合の「働く人に話を聞く会2」に来てくださいます。先生の教え子です（笑）どうぞ、何でもどんどん聞いていいよ。「絶対答えろ」って言うておきます。

【らくがき帳のおまけ（逆取材の続き）】

先生「どうしてアナウンサーになろうと思ったの？」

佐橋アナ『アナウンサーは、言葉で人の気持ちを前向きにできる仕事だと思ったからです。私が中学生の頃、祖母は足が悪く、どこへも出かけられずにいました。そんな祖母が楽しみにしていたのが、情報番組の中継コーナーでした。桜や紅葉、物産展など旬なスポットから、アナウンサーがその魅力を伝えているのを見て、祖母は「ここへ行きたい！」と前向きにリハビリに励んでいました。その様子を見ていて、言葉で誰かの背中を押す仕事に就きたいと思うようになりました。』

先生「どんなときにやりがいを感じる？」

佐橋アナ『今私が担当しているのはニュース番組で、必ずしも前向きになれるような内容ばかりではありません。むしろ楽しい現場は少ないです。そんな中でも見ている人の少しでも役立つ情報が届けられたらなと思っています。今回の「灯中の生徒主体の校則改定の取組」のニュースでは、灯中の皆さんの取組を通して多くの方が前向きな気持ちになれるように、しっかりお伝えできればと思います。』

（『楽しい現場は少ない』…仕事の現実的な厳しい側面を教えてください。きっと、どんな仕事も華やかな、楽しいことだけではないんだと先生は思います。でも佐橋さんの仕事は、テレビを見るたくさんの人の希望になれるステキな職業だと思います）

*

おまけ 佐橋アナ『それと山口先生は、生徒思いな熱いパッションがあって、どうしてこんなにも情熱を持てるのだろう、何が先生を突き動かしているのかを個人的に聞いてみたいと思いました。』

（うれしい…んだけど、自分では熱い教師って思っていないんだけどね～。どうか暑苦しい教師と思われていませんように…）

【さらに高めよう！タイムマネジメント力】

11月9日(木)は『生徒が主役！タイムマネジメントデー』でした。生徒の皆さんの自主的な行動を信じて、先生方が生徒の皆さんに【時間】について一切声をかけない日でした。放送で伝えたように、先生は「みんなならできる！」と信じていました。生徒と先生の感想を紹介します。

生徒の感想

- 声をかければみんなしっかり座ってくれた。これからは意識高く、声をかけなくてもできるようになってほしい。(1年)
- タイムマネジメントができるのが2組の強みだと思いました。声かけする人も増えてきて、タイムマネジメント力以外も鍛えられて良かったです。(2年)
- 皆この活動を終えて、意識が変わったと思います。続けていきます!(3年)



先生方にも感想を聞いてみました

- こういう取組は初めてだったので、言いたくなるのをグッとこらえる1日でした。でも！私たちが声をかけなくても、どの学年も、生徒達が呼びかけ合っている! …もしかしたらこれまで、良かれと思ってしていた私たち大人の声かけが、逆に子どもの成長や学びを邪魔していたのかもしれない…と考えさせられました。
- 生徒同士でお互いに声をかけ合う姿があり、とても良かったです。廊下にいる自分の生活班の子にも声をかけに行く姿がとてもステキでした。生徒から「1日できたから、今度は1週間やってみたい」という声もありました。
- 級長、生活委員はもちろん頑張っていますが、授業前の声かけに教科係も加われると、係としての活動もより活発になるのではないかと思います。
- やればできる！子どもたちのパワーを感じました。
- 思い切って子どもたちに任せるのも大事ななと感じた。
- 授業に入ったどのクラスでも着ベルができていた。今までの取組以上に、生徒の主体的な姿が見られました。

